

# 両 両 中 だ よ り

「心豊かに 自立する」 笑顔と貢献 ～チーム両城で一步前へ～

12月増刊号 令和5年12月18日発行 ホームページアドレス : <http://www.kure-city.jp/~ryoc/>



## ◇ 「小さな親切」作文コンクール入賞



「小さな親切」運動本部主催の第48回「小さな親切」作文コンクールで、全国2万7,769編の応募から130点の入賞作品が決定し、本校2年生 長岡蓮月さんの作品がその中の1つ(入選)に選ばれました。東京都(グランドアーク半蔵門)で行われた全国表彰式に出席できませんでしたが、学校に届いた表彰状等を12月5日(火)の学校朝会で校長が授与しました。長岡さんの作文を紹介します。

「思いやりに包まれる私」

呉市立両城中学校 2年 長岡 蓮月

普段の生活の中で、自分のことを見つめなおすことがあるだろうか。自分の言動や、態度を見つめなおすことを、私はしない。

仲の良い先輩と一緒にサッカーの練習をした時のことである。先輩の友達も数人いる中での練習だった。私は先輩の友達とあまり話をすることがなかった。それに、人見知りをしてしまう性格なので、自分から話しかけることができず、ずっと黙ったままだった。先輩の友達が話しかけてくれても、少ししか話せなかった。先輩と一緒にいてくれたらいいのにと考えると、顔もふてぶてしくなる。とても態度が悪かったなと思う。

その後、先輩から少し怒られた。

「たくさん話しかけてもらってるのに、ふてぶてしいままなのはだめよ。蓮月ちゃんのことを気にかけてくれとるのに。それに、その時はいいよって言ってくれとって、そのままだといつか蓮月ちゃんの周りから人が離れていくかもしれん。辛い思いするのは自分自身よ。」

と言われた。自分を見つめなおすことになった一件であった。

その一件の後、私のよくないところを紙に書いてみた。人見知りをすると態度が悪くなることその他にも、たくさん思い浮かんだ。

紙をぼんやり見ていると、これが原因で、色んな人に迷惑をかけてきたのだろうと思った。いいよと許してくれた人も、本当はどんな気持ちだったのかなと考えた。私のためと思ってくれているのに、そのことに気付かず感謝もない。わがままばかりでいたことに気が付き、深く反省をした。

そして、私は色んな人に受け入れてもらいながら日々の生活を送らせてもらっていることにも気が付いた。私の先輩のように、時に厳しく叱ってくれる優しさやありがたさにも気付くことができた。

小さな親切、思いやりというのは、困っている人を助けたり、優しく接してあげることだけではないと感じる。私の近くにいる人だけでなく、私に関わるすべての人や、様々な場面で出会う人を受け入れることが重要である。

人を受け入れていくにはまず、私自身が受け入れてもらい、優しさの中で生きていることに気付かねばならない。良いところも、悪いところも受け入れてもらえることは、当たり前なことではない。私のことを思い向けてくれた優しさに気付くことができたとき、同じように優しくなれるのだと思う。その優しさは、小さな親切、思いやりとして表れるのだと私は考える。

これから先も、私は人に受け入れられながら生きていく。同じように私も、人を受け入れ、私がもらった優しさを、小さな親切、思いやりの形に変えて、多くの人に優しさの輪が広がるように、普段の生活を送りたい。

## ◇地域の方と一緒に防災学習

11月29日(水)、3年生が両城小体育館で地域の方と一緒に防災学習を行いました。

地域の方から両城地区のこれまでの被災状況や傾斜地における対策などを教えていただいた後、両城小に備え付けられている避難所開設時のパーティションや段ボールベッドを組み立てました。



また、7月の介護ブチ講座で学んだ座位から立位になったり、車椅子に乗ったりするときの補助の仕方を地域の方を交えて実践し、「自助・共助・公助」の意識や実践力を高めることができました。最後に、避難所でのリラックス法としてけん玉やリラックス体操を行いました。

体験した生徒は「避難時には、私たちが率先して行動することの大切さを学ぶことができました」と述べるなど、地域の方と一緒に実践的な活動をする中で防災に関する学びを深めることができました。

## ◇二川ロードレース大会

12月3日(日)、呉市中央西体育協会等が主催する「第45回中央西地区町民ロードレース大会」に出場しました。



晴天の下、マリンパーク川原石発着で、女子は2km、男子は3kmの瀬戸内海を眺めるコースを、それぞれがもてる力を発揮ながら駆け抜けました。

<校内規定による順位> ※学級対抗は1位のみ、個人は6位までを紹介

### 【学級対抗の部】

第1位 男子の部：2年1組、女子の部：2年2組

### 【個人の部】

1年男子	① 広谷 尚幸 ④ 山根 詩音	② 横山 悠幸 ⑤ 西田 龍翔	③ 森本 泰樹 ⑥ 香川 巧実
1年女子	① 岡本 恵麻 ④ 神田 奈那	② 花本 芽生 ⑤ 新田 一子	③ 増川 もも ⑥ 森原 彩夢
2年男子	① 久田 祐也 ④ 吉本 海斗	② 平原 凜太郎 ⑤ 松本 碧斗	③ 川平 大地 ⑥ 森田 健太
2年女子	① 長岡 蓮月 ④ 小島 夢祈	② 橋岡 愛梨 ⑤ 河内 みらい	③ 川原 希海 ⑥ 山岡 七海

3年男子	① 松本 瑛汰 ④ 榮本 侑真	② 宮元 颯玖 ⑤ 石原 怜	③ 佐藤 航太 ⑥ 大和 蒼空
3年女子	① 大久保 袖衣 ④ 原 美桜	② 花本 美羽 ⑤ 青野 史慧奈	③ 長重 佳奈 ⑥ 高川 新菜

## ◇チャレンジ講演会

12月12日(火)、テレビの情報番組等に多数出演しておられ、地域の先輩でもある田村友里アナウンサー(株式会社中国放送(RCC))にお越しいただき、全校生徒と希望保護者を対象に「チャレンジ講演会」を行いました。



「チャレンジ講演会」は、社会で活躍されている方から「高い志をもつ」こと、「自分を鍛え、何事にも挑戦する」ことの大切さを学び、将来の夢や目標の実現に向けて考え、実践するきっかけとすることを目的として行っています。

講演のテーマ「田村友里のガッツ物語 ～チャレンジ! 夢や目標の実現に向けて～」に基づき、約1時間お話いただきました。

講演では、まず「アナウンサーの1日」を紹介してくださり、不規則で生活のリズムが整わない大変な職であるが、「毎日が特別な体験」であり、大変さを上回る楽しさがあることを教わりました。

また、『奇跡を待つより捨て身の努力』のことばを胸に秘め、学生時代や入社試験のときに何度も挫折しそうになりながらも、「捨て身の努力」を続け、小さい頃からの夢であったアナウンサーという仕事に就かれたことなど、たくさんのことをお話いただき、あっという間の1時間でした。

1・2年生はリモートでの参加になりましたが、それでも画面越しに多くの質問をするなど、全校生徒にとって実りの多い時間になりました。

最後に、田村アナウンサーが自ら各学級を回ってくださり、クラスごとに田村アナウンサーと一



緒に写真を撮ることもできました。撮影後、校長室に戻られる間も多くの生徒に囲まれていました。

**体罰、セクハラ相談窓口** 体罰、セクシュアル・ハラスメント、その他の相談に応じます。

毎月第3火曜日ですが、相談したいことがあれば、いつでもこの窓口を利用してください。

【担当】教頭、舛田(教務主任)、前原(生徒指導主事)、竹下(保健主事・養護教諭)

【学校電話番号】0823-21-4661 【相談場所】相談室、保健室等

